

連続講義

刑務所等矯正施設からの 退所者の現状と課題を考える

聴講無料/事前連絡不要
参加自由

(午前もしくは午後の方のみ参加可能)

【お問合せ】立命館大学人文科学研究所

Email: jinbun@st.ritsumeai.ac.jp Tel: 075-465-8225

日時: 2020年2月3日(月)10:00-15:30

会場: 立命館大学大阪いばらきキャンパス B棟 B516

第一講義(時間: 10:00-12:00)

講師: 大阪保護観察所 保護観察官 **西原 実氏**

<講義内容>

犯罪者が罪を償い、社会の一員として立ち直ろうとするには、本人の強い意志や行政機関の働き掛けのみならず、地域社会の理解と協力が必要とされる。保護観察所は、①保護観察、②生活環境の調整、③更生緊急保護、④恩赦の上申、⑤犯罪予防活動、⑥医療観察などの業務を通じて、保護司などの更生保護ボランティアとともに、更生保護活動の中心を担ってきた。第一講義では、西原保護観察官より、更生保護行政の現状と課題について、ご講義いただく。

第二講義(時間: 13:30-15:30)

講師: 一般社団法人 よりそいネットおおさか

事務局相談員 **北場 好信氏**

<講義内容>

「一般社団法人 よりそいネットおおさか」は、任意団体として2009年4月に設立され、「社会的な支援が届かない人々」が罪を犯し、出所後の「社会的受け皿がない」ことで犯罪を繰り返す実態の改善を目指し、様々な活動に従事してきた。同法人は、2013年以降、大阪府からの委託を受け、「地域生活定着支援センター」事業も担っている。第二講義では、相談員の北場氏より、「地域生活定着支援センター」の現状と課題について、ご講義いただく。